

第56回  
栃木県公衆衛生学会抄録集

平成30(2018)年9月5日(水)

栃木県総合文化センター

第1会議室、第2会議室、第3会議室、第4会議室

栃木県公衆衛生協会  
栃 木 県



## 趣 旨

快適で良好な環境のもとで、生涯に渡って健やかな生活を送ることは、すべての県民の願いです。

しかし、医学の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上にもかかわらず、健康を阻害する課題は依然として多く、適切な解決が必要とされています。

そこで、県内の公衆衛生関係者が一堂に会し、健康及び環境問題に対する認識を更に深め、問題解決への意欲を新たにするとともに、関係者の資質の向上と県民の公衆衛生、環境保全に対する関心を高めるため、公衆衛生大会及び公衆衛生学会を開催します。

また、救急医療及び救急業務に対する県民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、救急医療週間記念大会をあわせて開催するものです。

第 5 8 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 大 会  
第 5 6 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 学 会  
平 成 3 0 ( 2 0 1 8 ) 年 度 救 急 医 療 週 間 記 念 大 会

プ ロ グ ラ ム

I 公衆衛生大会・公衆衛生学会・救急医療週間記念大会式典

- 1 開 会 ( 1 0 : 3 0 )
- 2 式 辞 大 会 長 栃 木 県 知 事 福 田 富 一
- 3 挨 拶 学 会 長 栃 木 県 公 衆 衛 生 協 会 会 長 太 田 照 男  
( 栃 木 県 医 師 会 会 長 )
- 4 表 彰 保 健 衛 生 事 業 功 労 者 知 事 表 彰  
〃 大 会 長 表 彰  
救 急 医 療 功 労 者 知 事 表 彰  
公 衆 衛 生 学 会 発 表 優 秀 者 学 会 長 表 彰
- 5 来賓祝辞
- 6 受賞者代表挨拶
- 7 記念講演 「経営戦略としての働き方改革」  
講師／社会福祉法人光誠会 本部事務局長  
古口 文規 氏
- 8 閉 会 ( 1 2 : 1 5 )

## Ⅱ 公衆衛生学会

### 1 口演発表

(13:30)

① 第1会場 (栃木県総合文化センター 第1会議室)

演題区分 疫学・保健医療情報、生活習慣病・メタボリックシンドローム、  
口腔保健、保健行動・健康教育、公衆衛生従事者育成

座長 中村 好一 (自治医科大学教授)

〃 小橋 元 (獨協医科大学教授)

〃 宮原 保之 (一般社団法人栃木県医師会副会長)

② 第2会場 (栃木県総合文化センター 第2会議室)

演題区分 親子保健・学校保健、ヘルスプロモーション、公衆栄養、  
精神保健福祉

座長 高橋 司 (安足健康福祉センター所長)

〃 大橋 俊子 (参事兼県南健康福祉センター所長)

〃 増茂 尚志 (参事兼精神保健福祉センター所長)

③ 第3会場 (栃木県総合文化センター 第3会議室)

演題区分 感染症、保健所・衛生行政・地域保健、食品衛生・薬事衛生

座長 稲野 秀孝 (一般社団法人栃木県医師会副会長)

〃 塚田 三夫 (県西健康福祉センター所長)

〃 高橋 正典 (栃木県生活衛生課長)

④ 第4会場 (栃木県総合文化センター 第4会議室)

演題区分 難病・障害の医療と福祉、生活習慣病・メタボリックシンドローム、  
公衆衛生従事者育成、その他、環境保健)

座長 大原 智子 (県東健康福祉センター所長)

〃 金澤 秀行 (栃木県薬務課長)

〃 津久井 哲夫 (栃木県環境保全課長)

### 2 口演終了

(15:30)

# 第56回栃木県公衆衛生学会の会場別演題目次

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

## 第1会場

(疫学・保健医療情報、生活習慣病・メタボリックシンドローム、口腔保健、保健行動・健康教育、公衆衛生従事者育成)

No. 1 ~ 3 座長 中村 好一 (自治医科大学教授)  
 No. 4 ~ 6 座長 小橋 元 (獨協医科大学教授)  
 No. 7 ~ 9 座長 宮原 保之 (一般社団法人栃木県医師会副会長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	栃木県におけるライフステージ別がん罹患の特徴	大木 いずみ	栃木県立がんセンター	疫学・保健医療情報	13	13:35
2	栃木県がん集検協議会精度管理部会における発見がん追跡調査実施報告～3年間のまとめ～	佐藤 靖子	(公財)栃木県保健衛生事業団	疫学・保健医療情報	16	13:45
3	MGとUSの分離併用独立判定方式における発見がんについて	平澤 舞	(公財)栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	19	13:55
4	発見大腸がんの検診履歴についての検討	清水 正幸	(公財)栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	22	14:05
5	県内医療保険者の特定健康検査データ情報を活用した分析事業から見てきたこと	稲見 朋子	栃木県保険者協議会専門部会(栃木銀行健康保険組合)	生活習慣病・メタボリックシンドローム	25	14:15
6	協会けんぽ加入者(被扶養者を中心とした)の歯科健診と歯科健康づくり意識についての考察	浅川 美知子	全国健康保険協会栃木支部	口腔保健	28	14:25
7	データを活用した糖尿病予防の取組とその評価	稲見 悠	宇都宮市 保健福祉総務課	保健行動・健康教育	31	14:35
8	栃木県実習指導者講習会の修了者活動状況及び病院の意向に関する実態調査	阿相 有理	栃木県 医療政策課	公衆衛生従事者育成	34	14:45
9	栃木県における乳幼児期、学齢期のう蝕の状況について	中山 竜司	栃木県 健康増進課	口腔保健	37	14:55
⑩	栃木県の小児・AYA世代のがん対策に関する現状と今後の取組について	金田 薫	栃木県 健康増進課	生活習慣病・メタボリックシンドローム	40	
⑪	栃木県脳卒中地域拠点医療機関の現状と脳卒中対策の課題について	荒井 雅俊	栃木県 健康増進課	生活習慣病・メタボリックシンドローム	43	
⑫	衛生行政報告例および医療施設調査(静態調査)における歯科衛生士及び歯科技工士の勤務状況について	青山 旬	衛生福祉大学 校	口腔保健	46	

## 第2会場

(親子保健・学校保健、ヘルスプロモーション、公衆栄養、精神保健福祉)

No. 1 ~ 3 座長 高橋 司 (安足健康福祉センター所長)  
 No. 4 ~ 6 座長 大橋 俊子 (参事兼県南健康福祉センター所長)  
 No. 7 ~ 8 座長 増茂 尚志 (参事兼精神保健福祉センター所長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	要支援妊婦の評価と選定基準の統一化	三宅 志穂	小山市 健康増進課	親子保健・学校保健	51	13:35
2	乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)を通して見えた母子の実態 第3報-EPDS陽性者減少に向けた地域継続支援の検討-	菊地 美砂子	真岡市 こども家庭課	親子保健・学校保健	54	13:45
3	地域全体が連携した健康づくり推進のための取組	国田 亜由美	安足健康福祉センター	ヘルスプロモーション	57	13:55
4	地域における「健康な食事」の普及啓発~高校生を対象とした食育教室の実施~	鈴木 優佳	安足健康福祉センター	公衆栄養	60	14:05
5	管内の給食施設関係施設における介護食の食形態統一化に向けた取り組み	伊藤 里織	県西健康福祉センター	公衆栄養	63	14:15
6	若い世代が主体となった食育の推進~高校・大学等との連携事業について~	枝 有紀	宇都宮市保健所	公衆栄養	66	14:25
7	精神科救急における身体合併症への対応に関する調査	中山 晴美	精神保健福祉センター	精神保健福祉	69	14:35
8	こころのセーフティネットワーク事業における10年間の取組	舟迫 香	烏山健康福祉センター	精神保健福祉	72	14:45
9	栃木県内精神科病院における栄養食事指導調査:男女・疾患・年齢・病院群別解析	荒山 麻子	特定医療法人恵会 皆藤病院	ヘルスプロモーション	75	14:55
⑩	管内の災害時における避難所での食物アレルギー対策の取り組みについて	池内 寛子	県西健康福祉センター	公衆栄養	78	
⑪	精神障害者地域移行支援を通じた県北地区の相談支援体制づくり(第2報)-精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築の視点から-	笹沼 友絵	県北健康福祉センター	精神保健福祉	81	
⑫	栃木県下野市中学生の生活習慣と精神的健康の実態	藤田 京子	国際医療福祉大学保健医療福祉学部	親子保健・学校保健	84	

### 第3会場

(感染症、保健所・衛生行政・地域保健、食品衛生・薬事衛生)

No. 1 ~ 3 座長 稲野 秀孝 (一般社団法人栃木県医師会副会長)  
 No. 4 ~ 6 座長 塚田 三夫 (県西健康福祉センター所長)  
 No. 7 ~ 9 座長 高橋 正典 (栃木県生活衛生課長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	県西保健所における夜間HIV検査についての考察	阿部 幸奈	県西健康福祉センター	感染症	89	13:35
2	県南保健所管内で結核患者新登録となった喀痰塗抹陽性者の実態について	大田原 真妃	県南健康福祉センター	感染症	92	13:45
3	本校における麻しん及び風しん抗体検査結果に関する考察	奥山 啓子	衛生福祉大学 校	感染症	95	13:55
4	眼科におけるアデノウイルス感染症の実態調査および分子疫学	水越 文徳	保健環境センター	感染症	98	14:05
5	寒期に発症した腰痛患者の調査	高橋 秀典	(公社)栃木県 柔道整復師会	保健所・衛生 行政・地域保 健	101	14:15
6	かんぴょうに係る衛生管理の向上・品質担保(栃木かんぴょうハサップ)に関する取り組み	三上 千草	県南健康福祉 センター	食品衛生・薬 事衛生	104	14:25
7	ツキヨタケに含まれる有毒成分の分析法の検討	若林 勇輝	保健環境セン ター	食品衛生・薬 事衛生	107	14:35
8	調理施設の衛生状態について	鈴木 貴行	(公財)栃木県 保健衛生事業 団	食品衛生・薬 事衛生	110	14:45
9	生めん類中の品質保持剤 プロピレングリコール分析法の検討について	野中 貴子	県北健康福祉 センター	食品衛生・薬 事衛生	113	14:55



**第4会場**(難病・障害の医療と福祉、生活習慣病・メタボリックシンドローム、  
公衆衛生従事者育成、その他、環境保健)

No. 1 ~ 3 座長 大原 智子 (県東健康福祉センター所長)  
 No. 4 ~ 6 座長 金澤 秀行 (栃木県薬務課長)  
 No. 7 ~ 8 座長 津久井 哲夫 (栃木県環境保全課長)

No.	演 題	発表者名	発表者所属	区 分	頁	予定時刻
1	医療的ケア児実態調査結果報告について	長野 泰恵	栃木県 障害福祉課	難病・障害の医療と福祉	119	13:35
2	とちぎ難病相談支援センターにおける『難病ピア・サポート事業』展開への取り組み(第2報)～「疾患グループ別交流会」の創設～	豊田 省子	とちぎ難病相談支援センター	難病・障害の医療と福祉	122	13:45
3	宇都宮市難病対策地域協議会の取組	須藤 博美	宇都宮市保健所	難病・障害の医療と福祉	125	13:55
4	終末糖化産物(AGEs)を指標としたかんぴょうパウダーの生活習慣病予防効果について	景山 遥	国際医療福祉大学 薬学部	生活習慣病・メタボリックシンドローム	128	14:05
5	一元管理シートを用いたCAPAの進捗管理とGMPルールブックを活用したGMP向上への取り組み	富澤 之貴	久光製薬株式会社 品質保証部	公衆衛生従事者育成	131	14:15
6	化粧品の品質クレーム対応システムとその運用について	高山 典子	株式会社シーボン 生産部	その他	134	14:25
7	堆肥化施設に係る臭気の発生抑制に関する調査(第2報)	神野 憲一	保健環境センター	環境保健	137	14:35
8	新環境基準項目(底層DO)のモニタリング手法および評価手法の構築に関する研究(第1報)	平山 大輔	保健環境センター	環境保健	140	14:45
⑨	ブラジルANVISAによるGMP査察対応事例	小倉 康裕	栄研化学株式会社 品質保証部	その他	143	

## 注 意 事 項

### 1 発表される方へ

- ① 発表の順序及び発表者の変更は、原則として認めません。
- ② 「次演者席」が設けてありますので、あなたの前の発表が始まると同時に「次演者席」に着席して下さい。
- ③ 発表時間は8分以内です。質疑討論時間は2分以内です。
- ④ 時間の経過はベルでお知らせします。  
(7分経過：ベル1回。8分経過：ベル2回。10分経過：ベル3回)
- ⑤ やむを得ず追加資料を使う場合には、受付に申し出た上で、各自の責任で配付して下さい。
- ⑥ パソコン等の機器操作は、発表者側で行って下さい。
- ⑦ 掛図・パネルの掲示は係員がお手伝いしますが、管理は発表者側で行って下さい。

### 2 質疑される方へ

- ① 発表に関する質問、意見を述べる時は、必ず座長に従って下さい。
- ② 質疑討論は一括して行う時もあります。
- ③ 発言する場合は、所属・氏名を述べて下さい。
- ④ 質疑討論時間は、1題につき2分以内です。

### 3 御参加の皆様へ

- ① 会場内は禁煙となっておりますので、喫煙は所定の場所をお願いします。
- ② 会場での呼び出しは行いません。
- ③ 座席数に限りがありますので、他の会場への移動を予定しない方は、各機の中央の椅子にお掛け下さい。
- ④ 携帯電話は、電源を切るかマナーモードにする等、音が出ない状態にしておいて下さい。

# 会場案内図（概略図）

栃木県総合文化センター 3階



